

# 編集室

\* 本号は1月号なので、新年にあたっての抱負でも書きたいところだが、特別小特集の「編集にあたって」に新年のことは書いてしまったので、ここでは新年には似つかわしくない夏休みのことを書こうと思う。

\* 今年の夏休みは遊び過ぎたという感覚をどうしても持ってしまう。8月中は普通に過ぎた。大学が停電になる一斉休業期間に休んだくらいだ。8月末から9月末まで出張が目白押しだった。国際会議の開催打合せ、研究会、ソサイエティ大会、別の国際会議が続いて、家で寝ることはほとんどなかった。ソサイエティ大会は私が後押ししている英語セッションが4日間に膨れ上がり、後押しした責任上全部出席した。その後の海外での国際会議は、1日1便しかない飛行機の時刻の関係から、到着した日と帰国する日に自由時間がたっぷりあった。それで他の会議参加者とともに、近くの世界遺産を見学したりした。

\* 9月は例年学会が多い。去年は例年より少し多かっただけである。大体学会は仕事で出席しているものであり、遊んだのは飛行機の時刻の関係で空いた時間だけだ。それなのになぜ遊び過ぎたと感じたのだろうか。

\* その答えは10月初めに参加したザリガニパーティだ。というと、ほとんどの人は何がなんだか分からないであろう。私は今から二十数年前スウェーデンに住んでいたことがある。スウェーデンでは夏休みをたっぷり取る。法律で最低4週間の夏期休暇が義務付けられており、大学だと2か月は休む。

\* スウェーデンの大学の夏休みは6月中旬から8月中旬までだ。日本の大学も授業期間という意味では2か月近い夏

休みがあるが、スウェーデンの大学では本当に皆休む。海辺や湖畔にサマーハウスを持っていてそこで暮らす人が多い。南ヨーロッパや北アフリカに数週間滞在する人もいる。夏休み前の6月上旬に、ニンジンとジャガイモを食べながら、皆でわいわいやる日がある。夏休みの計画に話が弾む。

\* 夏も終わって秋に入った8月下旬にザリガニパーティがある。ザリガニというとゲテモノと思う人がいるかもしれないが、ディルと一緒にゆでてあって大変おいしい。それと、チーズ、ジャガイモをさかんに、ビールやスウェーデン焼酎アクアピットを飲みながらわいわいやる。夏休みの楽しかった思い出に話が弾む。

\* 去年は在日スウェーデン商工会議所のザリガニパーティに招かれた。日本では10月にならないと秋らしくないので、10月初めに開かれた。ちょうど出張の連続が終わったときだった。ザリガニパーティで夏休みのことをわいわい話して飲んだので、なぜか夏休みに遊び過ぎた錯覚に陥ってしまった。その錯覚からなかなか抜け出せないのだ。

\* しかし、実際には夏休み中仕事ばかりで、遊んだのはほんのわずかだ。スウェーデンでは1か月以上休めて、日本ではなぜ休めないのだろう。昔は単純に労働時間の違いだった。労働時間が長い日本は高度成長を果たした。しかし、現在は状況が異なる。日本の方が成長しているとは言い難い。多分合理的であるか否かが休みの長さの差になっているのだと思う。日本では労力を無駄にすることが多過ぎる。もっと合理的に労力を使うようにして、余裕のある生活ができる社会にしたい。

(編集理事 田中良明)